

青少年育成センターだより

第57号 平成31年1月



新年の 白紙綴ちたる 句帖哉

正岡子規

(新しい年になったので、白紙を束ねてとじた新しい句帖を用意しました。それを前にすると、気持ちが改まるものです)

新しい年が始まりました。今年の目標を決められたでしょうか。子規も新しい句帖を準備してやる気満々で新しい年を迎えたようです。

私たちも子規に負けないように、何か新しいものを準備してみてもいいですか。

夢を実現する力

この号では、新年にふさわしく「夢」について考えてみましょう。

僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。僕は3歳の時から練習を始めています。3歳から7歳までは半年くらいまでやっていましたが、3年生の時から今までは365日中360日は激しい練習をしています。だから、1週間中で友達と遊べる時間は5、6時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。ドラフト入団で契約金は1億円以上が目標です。僕が自信のあるのは投手か打撃です。去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そして、ほとんどの投手を見てきましたが自分が大会ナンバーワン選手と確信でき、打撃では県大会4試合のうちホームランを3本打ちました。そして、全体を通した打率は5割8分3厘でした。このように自分でも納得いく成績でした。そして、僕たちは1年間負け知らずで野球ができました。だから、この調子でこれからもがんばります。そして、僕が一流選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って応援してもらうのも夢の一つです。とにかく1番大きな夢は野球選手になることです。

皆さんは、この作文を読まれてすぐに誰が書いたのかお分かりになられたことでしょうか。そうです、大リーガーのイチロー選手が小学校6年生の時に書いた作文です。

この作文から、彼は小学校の時から目標（プロ野球選手になりたい）をもち、そして実現するための手立てを考え、実践していたこと（厳しい練習）が読みとれます。子どもながらすごいなあと感じさせられるものです。将来大きなことを成し遂げていく人間というものはすごいものですね。実現させるためにとても大きな努力をしたことにも感心させられましたが、それ以上に自分がお世話になった人への感謝の気持ち（報恩の心）を小学6年生という子どもがもっていたということに感心させられました。

大きなことを成し遂げていく人間は努力することだけでなく、人に対する感謝の気持ちをもっているようです。成功の秘訣は、「努力する強い心」と「報恩の心」です。

新しい年を迎えました。あなたの夢の実現に向けた戦略、戦術を立てましょう。